

令和6年度 第5回学長選考・監察会議議事録

I. 日 時 令和7年3月4日（火） 15時00分～15時40分

II. 場 所 オンライン

III. 出席者 西堀（議長）、河田、黒木、塩尻、島田、銭谷、
伊藤、内山、大鳥、松浦、三木、和田各委員
ワザバー 大井監事、丸山事務局長
（欠席者：宮坂、諏訪各委員）

IV. 前回議事録について

前回の議事録（案）について、原案のとおり承認された。

V. 議 事

1. 学長の業績評価について

西堀議長から、学長の業績評価について、次の（１）今年度の実施方法及び（２）次年度以降の実施方法について議論したい旨提案があり、意見交換が行われた。

審議の結果、今年度の実施方法については、本日出た意見を踏まえて事務局で「国立大学法人千葉大学学長の業績評価の実施について」の修正案を作成し、次回会議で提案することとなった。また、次年度以降の実施方法については、今後も継続して審議することとなった。

（１）今年度の実施方法

【議長提案】今年度の評価については、評価期間の大半が経過しているため、「国立大学法人千葉大学学長の業績評価の実施について」業績調書の審査結果（様式１）及び（様式２）に下記２点を修正する以外は、評価方法は大きく変えずに実施する。

- ① 全体的な評価を行う際の参考とするため、九つの項目の評価欄とは別に、総合評価欄を設ける。
- ② 特筆すべき事項、その他コメントの他に、学長への要望事項、学長へ期待する事項を設ける。

意見交換において出された主な意見は次のとおり。

- ・業績調書の内容について、学長が特に先導して実施した事項が分かるような形が望ましい。
- ・調書作成を依頼する際に委員からのご意見としてお伝えしたい。
- ・評価を付ける前に各委員の評価の基準を揃える必要があるのではないか。
- ・本来は、定められた計画に沿って評価する形が望ましいが、現時点では必ずしも定まっていないと思われるため、今回は、従来からある大学の計画などと比べて、評価者自身の基準で評価する形になるのではないか。

- ・今回、最終的に業績評価結果として公表するものは、これまでと同様か。
- ・基本的には同様である。これまでは、各委員からの意見は全て掲載していたが、今回は、委員間で一致できる部分については、学長への提言としてまとめる形にしたいと考える。

(2) 次年度以降の実施方法

意見交換において出された主な意見は次のとおり。

- ・業績評価に中に、所信表明の際に掲げた項目の自己評価欄を設けてはどうか。

VI. 報告事項

1. 学長選考・監察会議の学外委員の選考方針等に関する検討依頼について
西堀議長から、表記文書の執行部への手交について報告があった。

以上